



理事長メッセージ

**2026年3月、まちだみどり活用ネットワークは、
NPO法人として新たなスタートを切りました。**

私たちのネットワークは、2023年に発足して以後、町田の「みどり」を守り、活かし、未来へつなぐことを目的に活動してきました。公園、農地、里山、そして地域に暮らす人びとの営み。これらは町田の大切な財産であり、私たちの暮らしを豊かにする力を持っています。

これまでの活動を通じて、農家、事業者、市民、行政が、同じ方向を向いて動けるようになったことは、大きな成果だと感じています。しかし、気候変動や担い手不足、土地利用の変化など、みどりを取り巻く環境は変わりつつあります。

私たちは、法人化を新たな一歩として、これまで育んできたつながりを広げ、町田のみどりの未来を皆さんとともにつくっていきます。



理事長 河合紀彦

ずしまちいち

公園のみどりを、地域で楽しむ

図師日影坂下公園（図師町）で、年1回のマルシェを開催しています。地域の農産物や飲食、自然体験、音楽などを持ち寄り、みどり豊かな公園の中で交流する場をつくっています。



里山ワークショップ

里山で、生きものとふれあう

大谷里山農園（下小山田町）を舞台に、里山の自然や文化を親子で体験するワークショップを開催しています。生態系の中のハチの役割に注目して、養蜂や蜜蝋づくり、生きもの観察などをおこなっています。



今年度から始まる新しい取り組み

01 自然共生サイトへの登録をめざして

里山の価値を見つめ直し、関わる人を広げる



2026年度ドコモ市民活動団体助成事業に採択されました！これから2年間、市内の里山私有地（大谷里山農園など）や公園緑地を対象に、自然共生サイトへの登録をめざします。

里山の保全・再生や生きもの調査を進めるとともに、その自然の価値を伝え、市民や企業など新たな担い手に関わる機会をつくります。

02 Find Your Green Tour & Festival

町田のみどりと関わるきっかけづくり

町田市からの受託事業として、街なかでみどりの魅力や楽しみ方に会えるフェスティバルと、地域のみどりや活動する人を訪ねて歩くローカルツアー（フィールドワーク）を開催します。食、農、自然、健康、遊びなど、さまざまな入口から、暮らしの中でみどりと関わるきっかけを届けます。



町田のみどりの未来を、一緒につくりませんか？

自分に合ったかたちで、つながり方を探してください。

あなたの「やってみたい」を実現しましょう

活動に参加する

公式サイト、イベント情報



SNSをフォロー

Instagram、公式LINE



会員になる

種別・年会費、入会フォーム



ネットワーク構成員

町田市、(一社)町田市緑化協会、(社福)まちだ育成会、(NPO)たがやす、河合農園、大谷里山農園、あした農場、(NPO)町田フレンズサポート、(NPO)樹木・環境ネットワーク協会、(NPO)Life Lab Tama、まちだ里のマルシェ、桜美林大学アグリアクション、玉川大学OKOSHI、公園緑地等指定管理者（室内プール、野津田公園、相原中央公園、都立小山田緑地、都立大戸緑地）、町田市地域活動サポートオフィス、まちだベジハブ etc.